

防災教室

12月15日木曜日に、本校体育館で、中学部と高等部の1年生が、岩城少年自然の家の先生方を講師にお招きして、地震等の災害で地域の避難所で過ごすことを想定した模擬体験をしました。3つのグループに分かれて、次の活動に取り組みました。

1. パーソナルスペース制作

避難所で自分たちのプライバシーを守るため、段ボールなどの身近な物を使用して仕切りを作りました。



2. 非常食調理（白米炊飯）

きれいな飲料水が足りないことも考えられます。耐熱性のビニール袋に少量の水と米を入れて、鍋の中でゆでるとご飯が炊き上がります。ビニール袋の中にはきれいな水が必要ですが、鍋で使う水は川や海の水でも大丈夫です。



※岩城少年自然の家の先生から、乾麺やスパゲッティも同じように調理できると教えていただきました。

3. ランタン制作

2本のペットボトルを使います。1本目のペットボトルを上下半分にして底側に懐中電灯を立てます。この上に、水を入れたもう1本のペットボトルを重ねます。懐中電灯の直線的な光を、広い明かりにすることができます。レジ袋を懐中電灯にかぶせても同じ効果があります。



生徒の感想

- 段ボールを切るのが難しかったが、友達と協力したらできあがった。
- ランタンの作り方が分かった。デザインも工夫してみた。
- 避難所では少しでも楽しみが必要だと思う。ランタンに被せたレジ袋にイラストを描いた。

最後に体育館の照明を消してパーソナルスペースに入り、ランタンを点けて避難所の夜を模擬体験しました。

